

# 地域の適応活動に関連した気候変動適応センターの取り組みの紹介と現在の課題

真砂佳史

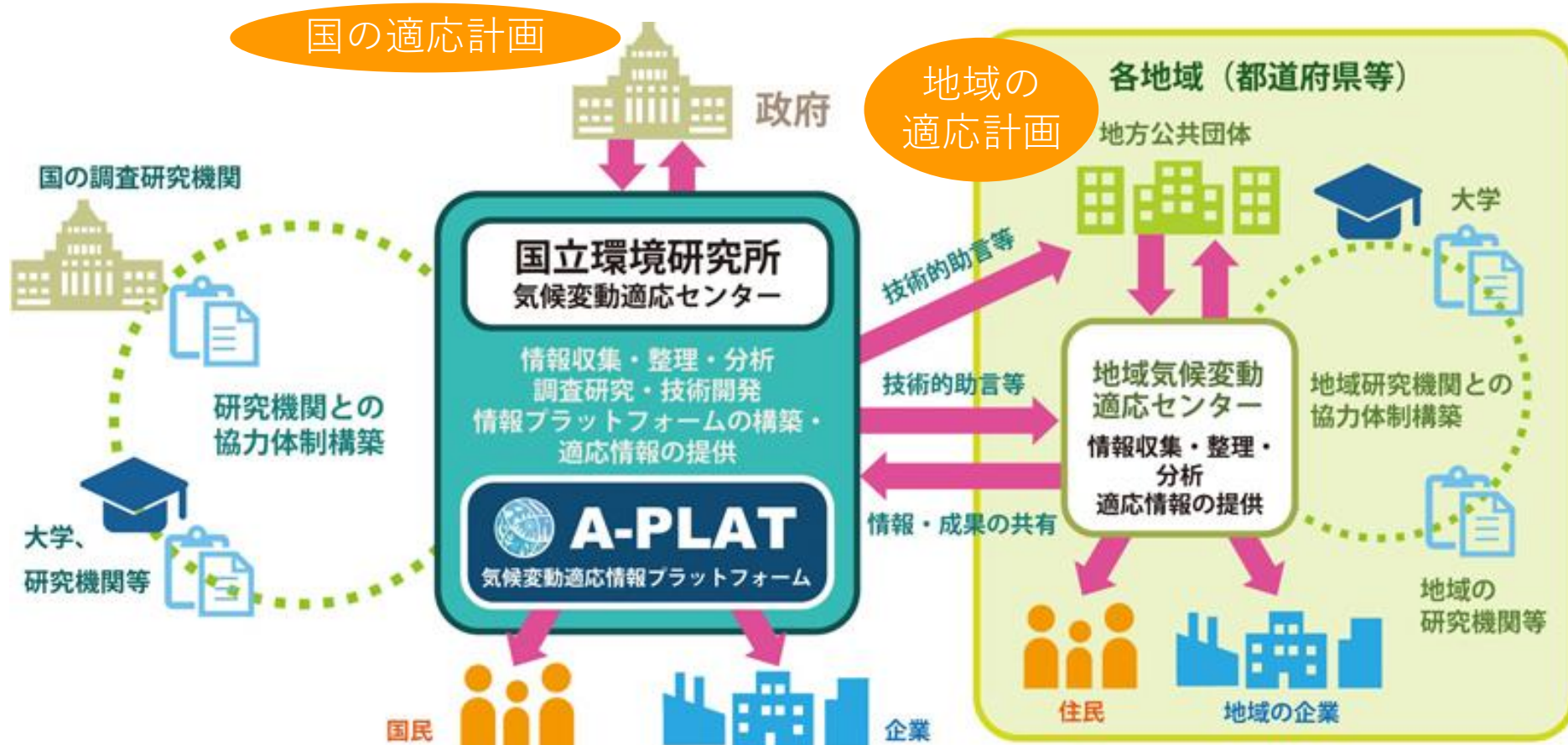
国立環境研究所 気候変動適応センター

# 気候変動適応法における国立環境研究所（NIES）の役割

## 第11条: 日本国内における気候変動適応に関する情報基盤の整備

- NIESを適応に関する **情報基盤の中核**と位置付ける
- NIESは次の業務を行う:
  - **気候変動影響および気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び提供**
  - **都道府県または市町村、地域気候変動適応センター、またその他の機関に対する技術的助言及び技術的援助**
- NIESは次のように努める:
  - 他の調査研究等機関との連携
  - 気候変動影響に関する情報収集への市民参加を促す

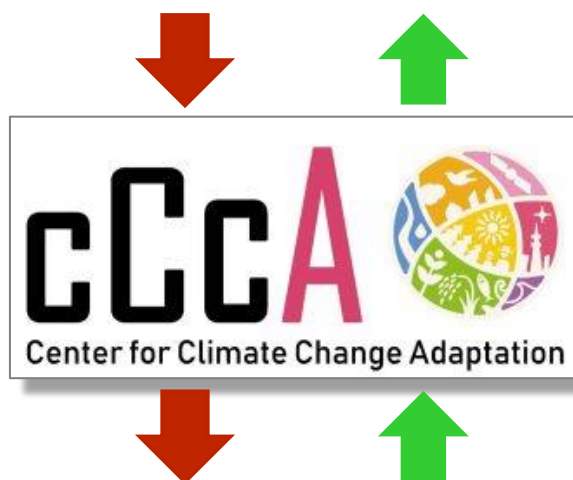
# 日本の国・地域別の気候変動適応の枠組み



# 気候変動適応センター：国家政策と地域適応政策の橋渡し

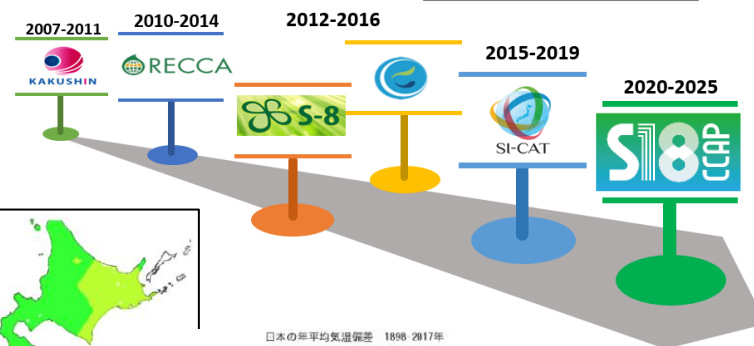
## 国家レベル

- 関連機関との研究プロジェクトの主導
- データや情報の収集・提供
- 国家気候変動影響評価や国家適応計画への貢献



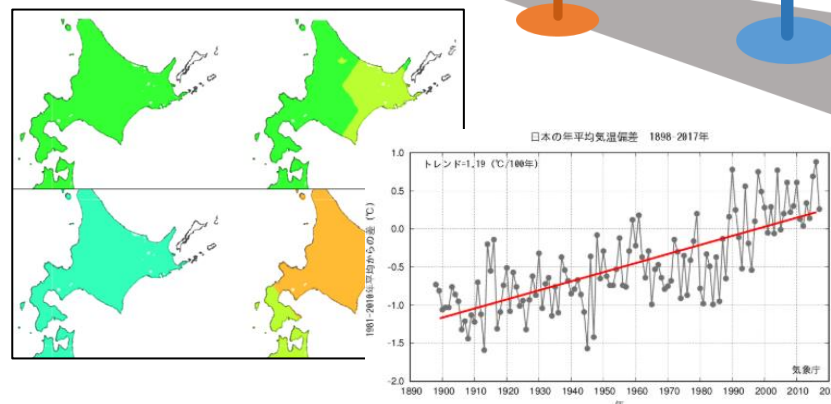
## 交換・やり取り

- データ
- 情報
- 知識
- 経験 etc.



## 地域レベル

- A-PLATによる情報提供
- 地域適応計画の策定支援
- LCCACsとの連携





# CCCAによる地域適応策のための取り組み

## A-PLAT: 地域の適応



**A-PLAT**  
気候変動適応情報プラットフォーム  
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

JP | EN



A-PLATについて | データ・資料 | 情報アーカイブ | リンク集 | お問い合わせ



気候変動と適応



国の取組



地域の適応



事業者の適応



個人の適応

HOME > 地域の適応

暮らしや環境に合わせた  
適応策を考える

## 地域の適応

Local climate change adaptation



みんなの"適応"経験談を紹介  
取り組み事例インタビュー



どうやって適応する？  
地域の適応策



何がわかっている？  
科学が教えてくれること



地域の担当者用

どうやって計画を立てる？  
地域気候変動適応計画



地域の担当者用

どんな拠点でどんな活動をするの？  
地域気候変動適応センター



地域の担当者用

どうやって伝える？  
普及啓発、コミュニケーション



地域の担当者用 がついているコンテンツは主に官公庁・自治体職員や研究者向けの情報です。

よくあるご質問はこちら >



# CCCAによる地域適応策のための取り組み

- 地域のステークホルダー向け研修
  - 地域適応計画の策定方法
  - 気候変動とその影響、適応に関する基礎知識
- 個別対応のコミュニケーションとサポート
  - 地方の適応のためのデータや情報作成
  - 委員会メンバーとしての活動
  - 地方協議会における講義提供
  - NIESやその他機関に所属する研究者の紹介



# LCCACsとの共同研究プログラム

- LCCACとの連携強化のための気候変動適応に関する内部研究プログラム
  - LCCACsとの共創による地方の気候変動適応に関する情報デザイン
  - 気候変動影響を検知するためのモニタリングシステムの構築
  - 日本の自然湖沼における気候変動影響のモニタリングと予測
  - 気候変動による市民の健康への影響に関する研究
  - グリーン・グレイハイブリッドインフラによる気候変動適応
  - 隠岐諸島における大気中の粒子状物質への気候変動影響に関する研究

## 課題

LCCACが各地域での適応策を検討・実施するにあたり、実務レベルでの情報共有・支援が十分ではない

➡ 担当者（LCCAC・CCCA）間での密なコミュニケーションが必要



地域の適応を進める上で有用な情報や知見の  
集約・共有を目的としたオンラインプラットフォーム

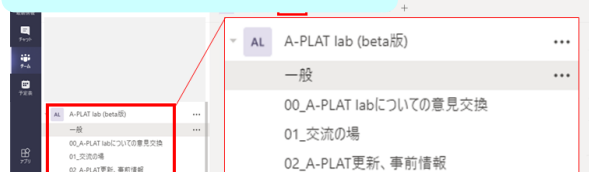
- ・他センターの事例
- ・専門的/技術的な情報など

## A-PLAT Labの構成・機能

### ポータルサイト



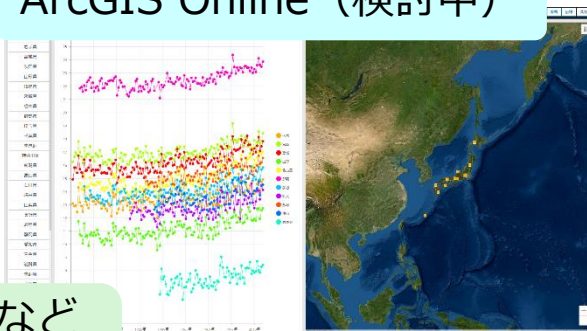
### Microsoft Teams



### コミュニケーション

チャット、センターの事例・動向などの情報を投稿、WEB会議が可能

### ArcGIS Online（検討中）



### 観測・予測データ

観測・予測データのGIS表示、編集、ダウンロード

### 最新情報の入手

省庁・研究機関の動き、適応関連ニュース等を集約

### 情報・データ共有

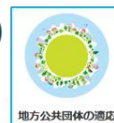
ファイルのアップ・ダウンロード、アンケートの配布・収集が可能



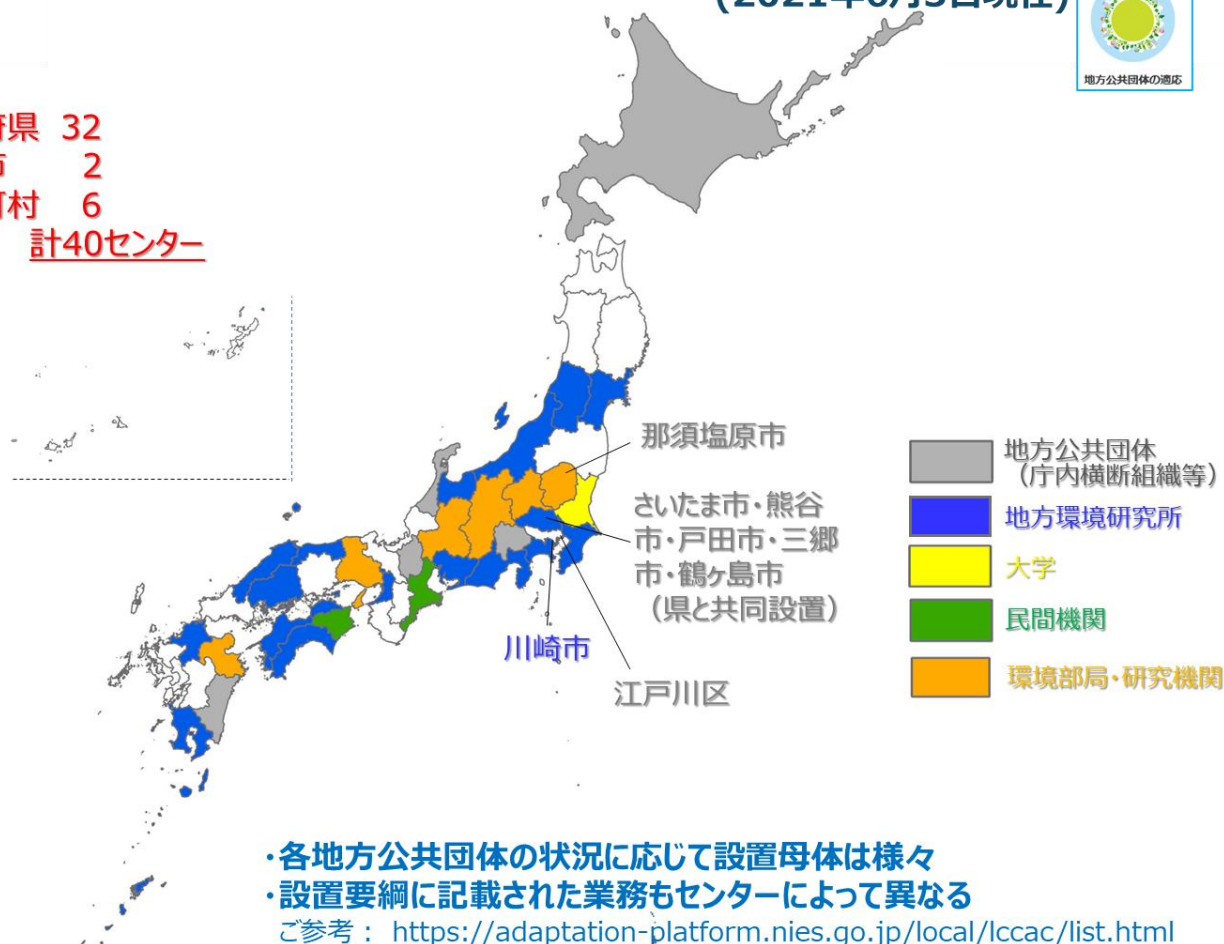
# 課題:

様々な背景・様々な保有資源・様々なニーズ

気候変動適応法に基づく地域気候変動適応センターの設置状況  
(2021年6月3日現在)

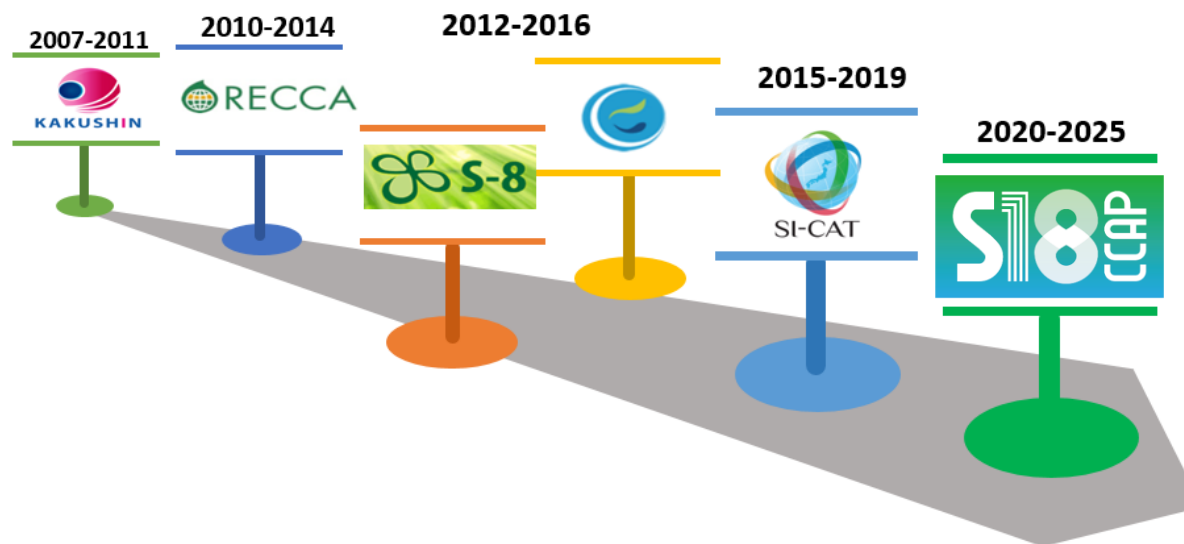


都道府県 32  
政令市 2  
市区町村 6  
計40センター



- LCCACsは32/47の都道府県の8の市町村で設立されており、その数は増加している
- LCCACの関心や能力・資源はその体制や地域の特性によって異なっている

## 課題: 最新の科学的知識を維持する



- 気候変動影響に関する科学的知識が蓄積されており、そのデータの適切な提供が困難になりつつある
  - 異なる機関からの複数のダウンスケーリングされた気候シナリオ
  - 同一の気候変動影響について、前提条件（気候シナリオなど）やモデルが異なる複数の予測データ
  - すでに確立されているモデルがある一方で、全く新しいモデルも存在

## 課題: CCCAの能力・資源とサービスの向上

- 限られた資源の中での、増加し続けている多様な地域のステークホルダーとのコミュニケーションや連携の強化
- 最新のIT・ウェブ技術への対応
- 各省庁の関連プラットフォームとのネットワーク構築
  - データ共有、オープンデータ・ポリシー、API…

